

令和8年度予算編成に向けた「区提案反映制度」項目・対応状況一覧

提案区	番号	項目	提案内容の概要	所管局	○：対応 △：一部対応
磯子	1	「共育て」応援のための子育て支援拠点機能強化	地域子育て支援拠点の日曜日開所に向けた予算措置	こども青少年局	○
磯子	2	旧いそごハイムが立地する岡村三丁目における防火・防災力の向上	1 防犯上の課題を踏まえた旧いそごハイムの早期解体実施	こども青少年局	△
			2 消防水利の不足等の地域課題や行政課題の解決に寄与する多様な検討	都市整備局	△
			3 これまでの要望を踏まえた、地域に対する検討内容・スケジュール等の適切な情報提供	消防局	△
磯子	3	横浜プールセンター休止後の早期検討	1 地域に対する検討内容・スケジュール等の適切な情報提供 2 横浜プールセンターの今後について、区民意見を早期に広く聴取 3 整備着手迄の暫定的な活用についての検討	にぎわいスポーツ文化局	○

令和8年度予算編成に向けた区提案反映制度調書

所管局名	こども青少年局		磯子区	こども家庭支援課 TEL 750-2449	
		共通区	14区（鶴見区、西区、中区、南区、港南区、旭区、金沢区、港北区、緑区、青葉区、都筑区、栄区、泉区、瀬谷区 一部賛同区含む）		
		継続年数		2年	
提案種別					
予算関連					
番号	項 目				
1	「共育て」応援のための子育て支援拠点機能強化				
△地域の課題、基礎データ等					
<ul style="list-style-type: none"> ・女性の社会進出の進展や働き方の多様化に伴い、共働き世帯の増加が増加しています。また、核家族化が進んだ結果、子育てに関する悩みや育児ストレスを感じている保護者の割合は2割を超えていました。 ・子育てに関する男女間の意識の差も大きく、「子どもが生まれてから配偶者が期待したほどのサポートをしてくれない」と答える者の割合は、男女間で10ポイント以上（男2.0% 女12.1%）差があるという結果が出ており、こうしたギャップも、保護者、特に母親の育児ストレスの要因になっていると考えられます※。 ・磯子区では、こども家庭庁やこども青少年局が推進している「共育て（家庭内で男女ともに仕事や家事、子育てに参画すること）」支援を通じて、男性の家事・育児等への参画を促し、一人ひとりがワーク・ライフ・バランスを意識し男女が共に主体的に子育てを楽しみ、子どもの成長に関わっていくことができる社会の実現を目指しています。 ・地域子育て支援拠点「いそビヨ」（以下「拠点」という。）は、現在、火曜日から土曜日までを開館日としており、特に平日は、フルタイム勤務の多い男性はやや利用しにくい状況にあります。実際に、令和6年度の火曜日から土曜日までの拠点利用者は男性996人（13.4%）、女性6,450人（86.6%）と男性の利用が限定的で、男性をどう増やしていくかが課題となっています。 ・これらを踏まえ、平日を中心とした、保護者の子育てに関する相談機能や、年齢に応じた親子の居場所を提供する機能等は維持しつつ、これまで拠点に足を向けることが少なかった層、特に若い父親をメインターゲットとし、男性の関心を引くイベントや講座等を、男性から要望の多い日曜日に実施することで「共育て」しやすい環境の整備や意識醸成に取り組む必要があると考えます。 ・令和7年度、区独自で実施した拠点の日曜日開所（「Sunday いそビヨ」）では、参加した保護者の約4割が男性、約3割が共働きの世帯であったことから、男性の参加や共働き家庭の利用促進に有効な取組であることが分かりました。また、女性参加者から「夫婦で参加できてよかったです」という声が多数聞かれ、「共育て」の意識を高めることにもつながっていると考えます。 ・以上のとおり、これまでの平日中心の開所に加え、区民のニーズに応じて、日曜日に定期的な開所日を設けるための予算措置を行えるようにすることは、拠点の利便性の向上につながり、今後更に求められる共働き家庭をはじめとした多様な保護者への支援や、「共育て」の実現に寄与する取組であると考えます。 					
※数値は磯子区子育てニーズ調査（令和5年度）より					
△地域ニーズ等の収集手段					
<input checked="" type="checkbox"/> 1 日常の窓口対応等 <input type="checkbox"/> 2 市民からの提案等 <input type="checkbox"/> 3 地区担当制 <input type="checkbox"/> 4 地域懇談会等 <input checked="" type="checkbox"/> 5 区民アンケート <input type="checkbox"/> 6 区民要望 <input type="checkbox"/> 7 関係団体からの要望 <input checked="" type="checkbox"/> 8 デジタルプラットフォーム <input checked="" type="checkbox"/> 9 その他（議員からの要望）					
△区民からの具体的な要望					
<p>【子育て当事者からのご意見】 「日曜日に親子で拠点を利用したくても、閉館日で利用できない」、「拠点を日曜日も開館してほしい」 【令和7年度日曜日開所利用者のアンケートより】 「日曜日に開いているところ、行けるところがない」、「いつも日曜日の過ごし方が悩みだった」、「父親と（夫婦で講座に）参加でき、勉強になった。遊ぶ姿も見ることができてよかったです」、「定期的にあけてほしい」 </p>					
△これまでの区としての対応 ※区運営方針に位置付けられているものはその旨記載してください。					
<p>磯子区運営方針：基本目標「皆さんとともにつくる 笑顔あふれるまち・いそご」、目標達成に向けた施策3（子どもから高齢者まで誰もが暮らしやすいまち）「多様化する子育てニーズを踏まえた育児支援」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全ての妊娠産婦や子育て家庭が地域で見守られ、安心して子どもを産み育てられる地域づくりを目指し、拠点と連携・協働して包括的な支援を進めてきました。 ・「磯子区子育てニーズ調査（令和5年度）」の結果や子育ての当事者からいただいたご意見を通じて、区内の子育て世帯の状況や子育てニーズの把握に努めるとともに、地域の実情に応じた具体的な事業・取組の検討を進めてきました。 ・令和7年度からは個性ある区づくり推進費を活用し、年10回、日曜日に拠点開所と父親等男性が参加しやすい講座等を同時に開催しており、参加者から好評を得ています。 					
△提案内容・概算額等					
<p>区の基本目標を達成するため、次のとおり地域子育て支援拠点の更なる充実を提案します。 地域子育て支援拠点の日曜日開所（月1回程度）及び父親向けのイベント等の開催に向けた予算措置 ※磯子区での実施予定（R7）を踏まえ設定。今後の利用ニーズの動向や、法人の運営課題への対応を踏まえ、令和9年度以降、更に拡大する想定。</p> <p>【概算額】 ■■■ 千円 ※希望する区に再配当</p>					
△参考：区執行体制上の課題					
<p>現行の体制で対応</p>					
△所管局					
所管局課	こども青少年局地域子育て支援課				

◆局回答内容

こども青少年局	地域子育て支援課	
	TEL	671-4157

対応の有無	対応する
対応する場合	◇対応の内容 地域子育て支援拠点の日曜日開所及び開所の際に実施する父親向けのイベントを開催し、地域子育て支援拠点の更なる充実を図ります。
対応しない場合	◇課題に対する局の考え方 ◇対応する場合の課題

令和8年度予算編成に向けた区提案反映制度調書

所管局名	こども青少年局、都市整備局、消防局	磯子区	区政推進課	
			TEL	750-2332

共通区	-
-----	---

継続年数 新規

提案種別	項目
予算関連	

番号	項目
2	旧いそごハイムが立地する岡村三丁目における防火・防災力の向上

◇地域の課題、基礎データ等
旧いそごハイムは、昭和54年に母子生活支援施設として開設されましたが、居室が狭いほか、浴室・シャワー等が共同であるなど、母子世帯への生活支援を十分に行うためには、居住環境の向上が必要となっていることなどから、平成25年3月に用途廃止がなされています。

その後、地域からの要望を受け、区と地域が「公有財産使用賃貸契約（一時貸付）」を締結することで、平成30年5月から当該施設の一部を地域が集会室として利用してきましたが、老朽化の影響により施設利用の安全性の確保が困難なことから、令和3年9月に地域の利用も停止しています。

当施設が用途廃止となってから10年以上が経過しており、空家状態の建物は防災・防犯の観点から改善が求められます。

併せて、旧いそごハイムが立地している岡村三丁目周辺は、地震火災対策の重点対策地域に位置づけられていますが、消防水利が不足しております、更なる地震火災対策が求められています。

【施設概要】
・施設名：旧いそごハイム
・所在地：横浜市磯子区岡村三丁目10-16
・敷地面積：819.67m ²
・現況地目：宅地
・建物構造：鉄筋コンクリート造・地上3階建（築45年・昭和54年築）
・延床面積：1,010.17m ²

□ 1 日常の窓口対応等	□ 2 市民からの提案等	□ 3 地区担当制	□ 4 地域懇談会等
□ 5 区民アンケート	■ 6 区民要望	■ 7 関係団体からの要望	
□ 8 デジタルプラットフォーム	□ 9 その他 ()		

◇区民からの具体的な要望

平成25年3月の用途廃止以降、平成25年5月、平成28年7月、令和4年11月に地域の活動場所の確保を求める区長陳情が地域から提出されています。

◇これまでの区としての対応 ※区運営方針に位置付けられているものはその旨記載してください。

これまでの経緯と状況に鑑み、関係局に対しては、地域に丁寧な説明を行いながら検討を進めていくとともに、地域の要望を踏まえた地域利用の空間を確保することを要望しています。

旧いそごハイムが立地している岡村中部自治会が地域の防災力向上を目的に「防災マップ」を作成した際には、都市整備局とともに作成支援を行っています。

◇提案内容・概算額等
1 旧いそごハイムについて、防犯上の課題を踏まえ、早期解体を実施すること
2 消防水利の不足等の地域課題や行政課題の解決に寄与する多様な検討を実施すること
3 これまでの地域からの要望を踏まえ、地域に対して、検討内容・スケジュール等を適切に情報提供すること

◇参考：区執行体制上の課題

現行の体制で対応

◇所管局	
所管局課	こども青少年局こどもの権利擁護課、都市整備局防災まちづくり推進課、消防局警防課

◆局回答内容	こどもの権利擁護課
こども青少年局	TEL 671-2394

対応の有無	一部対応する
対応する場合	◇対応の内容 旧いそごハイムの解体設計費を、こども青少年局の予算で計上します。
対応しない場合	◇課題に対する局の考え方 ◇対応する場合の課題

都市整備局	防災まちづくり推進課	
	TEL	671-2691

対応の有無	一部対応する
対応する場合	◇対応の内容 関係局と協議しつつ、必要な防災機能を検討します。
	◇課題に対する局の考え方 ◇対応する場合の課題
対応しない場合	◇課題に対する局の考え方 ◇対応する場合の課題

消防局	警防課	
	TEL	334-6475

対応の有無	一部対応する
対応する場合	◇対応の内容 関係局と協議しつつ、消防水利の充足に向けて検討します。
	◇課題に対する局の考え方 ◇対応する場合の課題
対応しない場合	◇課題に対する局の考え方 ◇対応する場合の課題

令和8年度予算編成に向けた区提案反映制度調書

所管局名	にぎわいスポーツ文化局	磯子区	区政推進課
		TEL	750-2332
共通区		-	

継続年数	2年
------	----

提案種別	
予算関連	
番号	項目
3	横浜プールセンター休止後の早期検討

◇地域の課題、基礎データ等

横浜プールセンターは、平成27年の『プール及び野外活動施設等の見直しに係る方針』において、「施設の老朽化が著しいことから再整備の検討を行う」とされており、令和3年度に大規模な漏水により当該施設が営業を休止した際にも「本牧市民プールの再整備状況を踏まえて、整備内容や手法、時期を検討する」旨の説明がなされています。

また、令和5年に本牧市民プールが再開したことから、横浜プールセンター休止後の活用に向けた具体的な検討内容やスケジュールを求める声が地域から寄せられています。

併せて、プール以外にも屋外テニスコートや消防訓練などに活用されている現状に対する要望もあり、地域のニーズや意見を尊重して、活用を検討する必要があります。

◇地域ニーズ等の収集手段								
<input checked="" type="checkbox"/> 1 日常の窓口対応等	<input checked="" type="checkbox"/> 2 市民からの提案等	<input checked="" type="checkbox"/> 3 地区担当制	<input checked="" type="checkbox"/> 4 地域懇談会等					
<input type="checkbox"/> 5 区民アンケート	<input checked="" type="checkbox"/> 6 区民要望	<input type="checkbox"/> 7 関係団体からの要望						
<input checked="" type="checkbox"/> 8 デジタルプラットフォーム	<input type="checkbox"/> 9 その他 ()							

◇区民からの具体的な要望

- 根岸湾の埋立てにより地域の子どもたちが海に触れられなくなったことへの代替として整備した経緯があるため、「建設当時の経緯を鑑み、海の代替施設を存続」してもらいたい。
- 夏季だけでなく、年間利用できるように工夫してもらいたい。
- 検討スケジュール等を含め適切に情報提供してほしい。

◇これまでの区としての対応 ※区運営方針に位置付けられているものはその旨記載してください。								
・都市計画マスター・プラン・磯子区プラン 「再整備予定の横浜プールセンターを含めた堀割川河口周辺を水の拠点と位置づけ、スポーツ・レクリエーションゾーンとして計画し、魅力的な空間をつくり出します。」								
・にぎわいスポーツ文化局に対し、休止後の活用の見通し等を地元定例会等で伝えることを要請しています。								

◇提案内容・概算額等								
1 地域に対して、検討内容・スケジュール等を適切に情報提供すること								
2 横浜プールセンターの今後について、早期に広く区民から意見聴収を行うこと								
3 整備着手迄の暫定的な活用についても検討すること								

◇参考：区執行体制上の課題

現行の体制で対応

◇所管局								
所管局課	にぎわいスポーツ文化局スポーツ振興課							

◆局回答内容

にぎわいスポーツ文化局	スポーツ振興課
TEL	671-3288

対応の有無	対応する
対応する場合	<p>◇対応の内容</p> <p>横浜プールセンターについては、平成27年度の「プール及び野外施設等の見直しに係る方針」において、「利用状況、コスト、配置等を評価した結果を踏まえつつ、施設の設置の経過に配慮し、存続とします。」とされており、この方針に沿って、検討を行っています。</p> <p>今年度は、昨年度に引き続き近接する本牧市民プールの利用状況調査を行うとともに、解体に向け低濃度PCB処理工事も行うなど、具体的な取組に着手しています。</p> <p>これらの結果や区及び地域からの要望も踏まえ、情報共有しながら適切に対応してまいります。</p>
対応しない場合	<p>◇課題に対する局の考え方</p> <p>◇対応する場合の課題</p>